

進路が決まって R6.1 No.1

Ｌさん （岐阜市立精華中学校）

鹿児島大学農学部 農業生産科学科 合格

私が岐阜農林高校に入学した理由は、県内でも有数の演劇の強豪校であったことでした。私自身、中学校からやってきた演劇を更に追求したいという思いがあったからです。



アボカド先進農家の視察

そのため、入学した当初は国公立大学への進学はおろか農業という分野に興味はなく、自分の将来の進路も全く考えていませんでした。しかし、高校で「農業」という新たな分野を学んでいくうちに自分の手で命を育てることの大事さや農業がもつ魅力に惹かれていき、いつしか更に高度な農業の分野を学ぶために国公立大学に進学したいという思いを抱くようになりました。

私は国公立大学に進学するにあたり、必ず成績は上位を保つように心がけました。そのこともあり定期考査のクラス順位は3年間10位以内で学年末評定の総合成績もクラス順位5位でした。

その他にも特別活動に力を入れました。私は生徒会役員を2期務めさせていただき、そのうちの1期は生徒会長として活動しました。これらの経験によって全体を把握する力をつけることができ、今の自分にもつながっていると感じています。

鹿児島大学への受験は3年生の7月に決めました。自分が研究している課題研究のテーマを深く学べる研究室をメインに探し、温暖な気候で熱帯果樹では最先端の研究を行っている鹿児島大学を選びました。はじめは岐阜から遠い地であるため、進学先を決めるにあたり、なかなか決断することができませんでしたが、課題研究の担当の先生に後押ししてもらったこともあり、最終的に受験を決めました。

過去の進学実績や受験報告書がないこともあり、最初はどこから受験勉強をすればいいのか分かりませんでした。今、自分が行っている課題研究の内容は、要因から環境条件までしっかり理解をし、面接で的確に答えられるようたくさんの先生と何度も練習をしました。また、小論文の勉強も、ネットから入手できる過去問を基に4年分解いて学科の先生に添削してもらったことで、農業分野の知識と傾向をつかんだ上で当日の試験を迎えることができました。岐阜農林高校から直近の合格実績がなく、受験に向けてたくさんの不安がありましたが、学科の先生をはじめ、たくさんの人に支えられて鹿児島大学合格という夢をかなえることができました。進学した後も学業に専念し、将来の夢をかなえるために農業科の教員免許を取得したいです。

私は今回の受験が、更に自分を成長させることができた一つのきっかけになったと思っています。自分の進路は自分の力で必ず叶えることができると信じています。

進路が決まって R6.1 No.2

Mさん 各務原市立稲羽中学校出身 岐阜大学応用生物学部 生産環境科学課程 合格

私は入学時から岐阜大学に進学することを目標にしていました。そのためにはまず高い評定をもらい維持することが大切だと思い、定期テストで良い点が取れるよう努力をしました。しかし私には岐阜大学に進学したい具体的な理由がありませんでした。その理由が見つかったのは高校2年生の



アボカド苗の栽培(図書情報棟南)

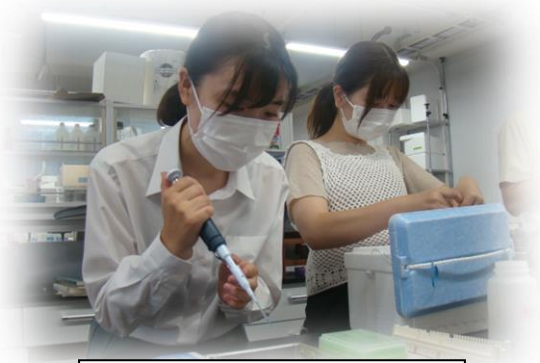
冬、課題研究でアボカドの研究を始めてからでした。岐阜大学でもアボカドの研究を行っていることを知り、進学して研究を続けたいと思いました。志望校を決める上でその大学でなければいけない明確な理由を見つけることが大切だと思いました。私は入試の2週間前まで部活動をしていたので勉強の時間を確保することが大変でした。顧問の先生と相談して進路支援部の先生方が行っている化学基礎の補習や小論文の補習などに参加させてもらいました。部活動が休みの日には、先生が開いている学習会に参加して課題をもらい、勉強をしていました。部活動がある日の夜は疲れていて集中力が保てない時が多かったため、早朝に勉強をしていました。部活動を引退してからは過去問をたくさん解きました。小論文の書き方のコツや記述式の問題に対して理論的に話を組み立てられるように何度も解きました。小論文は必ず先生に見せて評価をしてもらいました。

後輩の皆さんに伝えたいことは、勉強量は自分の自信に繋がるので、自信がつくまで勉強をしてやり切ったと思えるようになると良いということです。

進路が決まって R6.1 No.1

Nさん(3年生物工学科) 岐阜大学地域科学部 合格

私は岐阜大学の地域科学部に合格しました。受験した学校は静岡大学、岐阜大学、中部大学、岐阜女子大学、名城大学の計5校を受けました。その中で、最初に受験した第1志望の静岡大学は総合型選抜の2次試験で落ちてしまい、残りの4校を受験することになりました。その結果、無事4校とも合格することができ、震えるほどのうれし



遺伝子実験(於:岐阜大学)

さを感じました。そのような結果になったのは、静岡大学の受験に失敗した経験を生かしたことで、それまでの受験勉強が力になり、それを応用できたことが大きかったと思います。

具体的には、まず小論文の学習は3年生の3月から週1のペースでやり始め、受験勉強は7月のはじめくらいに始めました。静岡大学の受験科目は化学基礎と生物基礎、小論文でひたすらに取り組んでいました。特に夏休みの期間は8時間から9時間毎日学習していました。ここで重要なことは、1日の計画を立てることと、適度にリフレッシュすることだと思います。その理由は静岡大学の受験日が9月と他の大学より早いことから、私は気持ちが1日中落ち着かず焦りだけで学習していたため、1日の達成感がなくなって自信が持てない日々が続きました。そうならないために、1日やるべきことのリストに沿って学習することで、安心感と達成感が得られると思います。また逆に夏休みの期間の学習でよかったことは、小論文で静岡大学の小論文の問題だけでなく、異なる大学の小論文の問題に取り組んで行っていたことです。小論文の問題傾向は変わらないものの、多くの知識や考えが必要なため異なる大学の小論文の問題を解くことで、たくさんの視点を身に付けることができ、どんな問題にも対応できるようになると思います。その成果もあって受験科目が小論文だけだった岐阜大学の受験に対応できたと思います。あと気持ちをできるだけブレないようにすることを心掛けました。静岡大学に落ちたことは予想外でとてもショックを受けたことを覚えています。しかし、そこを早く切り替え、前向きの姿勢で次の試験に臨むことが大切だと気づきました。その姿勢を維持した状態で受験に臨むことができたのでとても受験が楽しく感じました。

まとめると、毎日の学習と前向きな気持ちを持ち続けたことが、これらの結果に結びついたと思います。この体験から、必ず受験の期間に苦境は1度出てくると思います。そうなったら、すぐに先生や親に相談し乗り越えていくことが大切だと思います。そして楽しんで受験を頑張ってください。

岐阜農林高校生物工学科に入学して R5の1

私は小さい頃から生物がとても好きで、動物関連の職に就きたい!と思っていました。

ある日、岐阜大学の体験授業でお米の DNA を使った実験をやってみて、遺伝子の分野に興味を持ち始め、岐阜農林の生物工学科に入学することを決めました。

入学したての頃は、5教科に加えて専門科目も学んでいけないといけなかったので勉強についていけなかったり、家から高校までバスで1時間近くかかり、学校行きたくないな...となるときもありましたが、授業や実習で無菌室に入ってクリーンベンチを使ってみたり、培地を作ってみたり、畑のマルチをはる作業をやってみたり...と、普通科高校ではなかなか経験できないような体験や学びを得られて、最近では今日は何をやるのかな?と学校に行くことがとても楽しみになりました。今は、もともと生物が好きなこともあり、好きなことを専門的に学べて楽しいです。

また、部活動で中学校時代は情報科学部という部活に入っていましたが、高校では「人前でしゃべることに慣れたい」という思いから放送部に入ることにしました。放送部ではお昼の放送を担当したり、ラジオドラマを作ったり...と、様々な活動をしています。今年は先輩方が県大会に出場し、朗読部門と、研究発表部門で優秀な成績をおさめ、全国大会に出場することが決まりました。私も今は次の大会に向けて朗読の練習をしています。思うようにいかなくて、苦しい時もありますが、部活の仲間に支えてもらい、頑張ることができています。



専門科目での実習の様子

岐阜農林高校生物工学科に入学して R5の2

揖斐川町立 北和 中学校出身 Iさん

僕が岐阜農林高校に入学した理由は科学に興味があり、実際にそれを学んでみたいと思ったからです。僕は幼い頃から探求心が高く、気になったものは調べないと気が済まない性分でした。また、小学生のころから理科の授業が好きで、理科は胸を張れる程度ではありませんが得意といえるほどでした。なので、将来は科学関係の仕事に就きたいと思っていました。そして中学3年生のとき、母親から、この岐阜農林高校に行ってみないかと提案されました。

僕はこの岐阜農林高校のホームページを見て、生物工学科の研究内容にすぐに興味をそそられ、この岐阜農林高校生物工学科に行きたいと思うようになりました。それから、2回オープンキャンパスに参加しました。学習の様子を見せてもらったとき、そこで見たのは、先輩方が自分で考え、自分で学ぶ様子でした。その様子はまるで、高校のなかで自立しているように見えました。それを見て僕はその先輩方に憧れを持つようになり、この生物工学科を受検する決意を固めるきっかけになりました。

今は、岐阜農林高校に入学して授業を受けていますが、とても楽しいです。授業は大変だけど高校の中に直売所があったり、様々なバリエーションのある部活動など、楽しいこともいっぱいあります。また、新たな友達ができ、その人たちと話すのも楽しみの一つです。農業や科学、スポーツに興味がある人はぜひ岐阜農林高等学校の入学にチャレンジしてみてはいかがでしょうか。



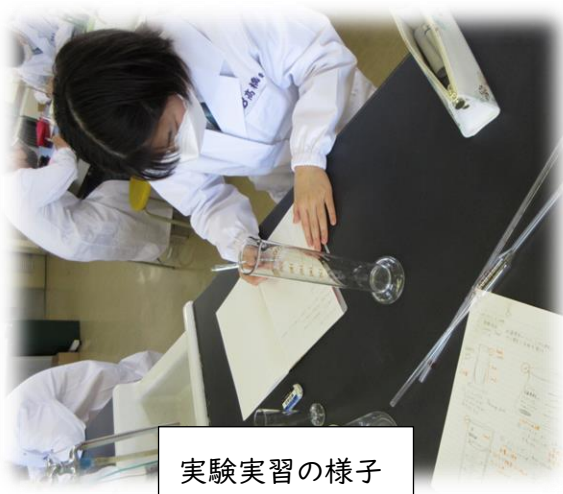
岐阜農林高校生物工学科に入学して R5の3

大野町立 大野 中学校出身 Kさん

私の父は、天然成分由来の物質を研究し商品開発する上で必要となる成分を開発するお仕事をしています。私はそんな父の姿を見て、【カッコいいな】、【私もあんなふうになりたい】という憧れを持ち高校生の内から5教科以外にも、専門的なことが学べ、電子顕微鏡などの貴重な機械に触れられることや岐阜大学をはじめ大学などの進路実績も高く、私は、大学に行きたいと思っていたので、岐阜農林の生物工学科を選びました。

実際に入学してみて感じたのは、まだまだ実習の基本的なことしかしていませんが、中学校にはない実験器具や無菌室に入り実際に実習に取り組めて楽しいです。2年生、3年生になると課題研究が始まりもっと高度な知識や技術を用いる必要があると思うので、今の内に知識や技術を吸収していきたいです。私は将来研究職に就きたいと思っています。まだどんな分野に関わりたいとは考えていませんが、将来に向けて努力していきたいです。

皆さんも自分が好きなことや興味のあることを考えてみたら夢が見つかるかもしれません。進路を決めることは自分の将来のなかで大切な選択だと思うので、後悔のない進路を実現してください。



実験実習の様子



ふるさと魅力体験事業での友人たちとの様子

岐阜農林高校生物工学科に入学して R5の4

岐阜市立島中中学校出身 Jさん

私が中学生の時、私には明確な「夢」がありませんでした。だから、あまり将来について考えていませんでした。しかし、進路決定が迫るにつれ、どんどん追い詰められていきました。そんな中、夏の高校見学の時期がやってきました。なるべく多くの学校に行こうと思い、普通科高校、商業高校、そして農業高校の岐阜農林高校の見学に行きました。そこで、岐阜農林高校の自然豊かな環境に驚かされました。そして、高校3年間でいかに充実させるか、と考えるようになりました。

私の家には、畑があり、常に自然が身近にありました。普通科高校や商業高校の見学の中で、普通科や商業科だと自然と関わらなくなるのかなあ、という不安を抱きました。そこで、農業高校である岐阜農林高校を受検することにしました。また、電子顕微鏡や無菌室などがあり、良い経験ができると思い、生物工学科に決めました。

予想外の定員オーバーで合格できるか不安でしたが、合格でき、生物工学科に入学しました。新たな高校生活の中で、様々な経験をしました。無菌室での実験や、様々な微生物や菌の観察、見たことのない器具の学習など、たくさんの経験をしました。また、先輩や先生からこれからも多くの体験をすることを教えてもらい、今後の勉強がとても楽しみになりました。初めての体験も多く、戸惑ったり、緊張したりすることもあります。様々な体験ができて、毎日楽しいです。

岐阜農林高校生物工学科は、進学率も高く、資格取得もできて、将来役立つことがたくさんあります。将来のことを考えるのも大事ですが、高校3年間でどう過ごすか、といった少し違う考え方をするのも良いのではないのでしょうか。ぜひ、自分にとってより良い進路選択をしてください。



農業と情報の授業の様子

岐阜農林高校生物工学科に入学して R5の5

岐阜市立島中学校出身 Iさん

私は岐阜農林生物工学科に入学して、本当に良かったと思っています。そう思う理由は2つあります。

1つ目は、実験が本当に充実していることです。無菌室は、気温までしっかり管理されていたり、エアージャワーなどでできるだけ菌を持ち込まないようにしたりして、菌が少ない状態を維持しています。また、実験器具を一人一つふんだんに使えて、技術を高めることができます。実験の後には、レポートを書かなくてはいけませんが、自分のやったことを自分なりにまとめるのは、やりがいがあり、楽しいです。

2つ目は、仲間との絆を深めることができる点です。この岐阜農林は、1つの科で1クラスなので、3年間クラスのメンバーが変わりません。特に生物工学科はなぜか隔離されていて、ほかの生徒と会うことが少ないので、よりクラスの絆を深めることができます。実際、私たちは入学して2か月だが、謎の一体感が生まれ、会ってから2か月とは思えないほど仲がよいです。行事など、全力で楽しめます。

このような理由から、私は岐阜農林生物工学科に入って本当に良かったと思っています。あなたも生物工学科に入学して、楽しい学校生活を送ってみるのはどうでしょうか。



ふるさと魅力発見事業（遠足）の様子



総合実習の様子

岐阜農林高校生物工学科に入学して R5の6

岐阜市立岐北中学校出身 Hさん

私が岐阜農林生物工学科に入った理由は2つあります。

1つ目は、家から岐阜農林までの距離がとても近かったからです。3年間通う高校なので近いことはとても魅力的でした。

2つ目の理由は、充実した設備がある部分です、学校見学に行ったときに、実習をする設備が充実していることを知り魅力を感じました。

現在入学して、生物工学科で2か月ほど過ごしてみて感じたことは4つあります。

1つ目は家から近くてとても便利だということです。

2つ目は、隔離されているということです、本館のフロアでは生物工学科以外の6つの学科が並んでいて、とても賑やかで楽しそうですが、生物工学科は、隔離されていて勉強にとっても集中できるし、隣のクラスに先輩がいるので先輩とも仲良くなれます。

3つ目は1階と2階に教室があることです、他の学科は4階に教室があり自販機や購買競争に勝つことはとても難しいのですが、生物工学科に入学してしまえば購買競争に圧勝することができます。

4つ目は、実習の設備が充実している部分です、電子顕微鏡などの普通、高校にはおいていないような高価な器具などもたくさんそろっていて、生物工学科でしか体験することのできないことを体験できます。

このようなメリットをこの2か月間過ごしてみて感じました、生物工学科の生徒はいろんな生徒がいてとても楽しいです!!!皆さんも生物工学科で高校生活を楽しもう!!!!



在校生の言葉 R4 No.1

2年生物工学科 Gさん

私は小学生のころからバスケットボールをしていました。高校生になったらもっと強いチームでプレーしたいという思いがあったのでバスケットボールの伝統校である岐阜農林高校に入学しました。

岐阜農林でバスケットボールをするということは私にとっては親元を離れ寮生活をするということでした。入学したばかりの私は不安でいっぱいでした、毎日のハードな部活に寮の週番、勉強などやらなければいけないことがたくさんありました。一日が三十時間だったらなと思うほどです笑。そんな寮生活も徐々に慣れていき今ではとても充実した日々を送れています。二年間の寮生活では自分で洗濯をしたり、自分から机に向かったり成長できたことがたくさんあります。今までは誰かに言われてからやってきたことを、すべて自分でスイッチを押して切り替えてやっていかなければいけません。この切り替えができるようになったのは寮生活で身についた力だと思います。

又、寮生活と部活動を通して学んだことは、様々な人に感謝しなければいけないということです。一番は両親に感謝しています、遠いところで試合があっても見に来てくれたり、帰省した時にはおいしいご飯を作ってくれたり、とても感謝しています。チームメイトにもとても感謝しています、今楽しい寮生活や部活動ができるのはチームメイトのおかげです。本当に最高の仲間に出会えたと思います。

来年には最高学年の三年生になります。自分たちの代で全国大会出場という悲願が達成できるよう日々の練習に真剣に取り組んでいきたいです。



寮生活の様子



バスケットボール部のチームメイト

在校生の言葉 R4 No.2

2年生物工学科 Fさん

私は小さい頃から植物や自然が大好きでした。そんなこともあって、「時代の先端を走るバイオの力で豊かな自然を守っていきたい」という思いで、岐阜農林高校の生物工学科に入学しました。

入学して間もない頃は、今までやったことのない高度な実験や専門的な用語を学ぶ日々が続き、うまくいかないことで悩んだことも多くありましたが、先生方の手厚い指導と周りの仲間の協力に支えられながら、自分の技術力が上がっていくのを感じました。それは2年生になった今でも変わらず、毎日実感しています。

私がこれまでの学校生活の中で特に印象に残っている出来事は生徒会役員に立候補したことです。2年生の後期に、卒業された先輩に勧められたことがきっかけで、自分を変えたいという気持ちもあってチャレンジしました。最初は慣れない活動で不安がありましたが、全校の生徒が笑顔になる姿を見て、自分の活動にやりがいを感じました。生徒会役員として活動した半年間で、自分から行動することの大切さを学ぶと同時に、今までよりも成長できたと思っています。来年度の前期からは生徒会長として生徒会活動を行います。これからもさらなる成長と高みを目指していきます。



生徒会立合演説の様子

思い返せばこの2年間、日々の生活をはじめ生徒会活動でもたくさんの仲間を支えられて生活してきました。『早かったようで短かった2年間でしたが、私にとっては、かけがえのない大切な2年間』となりました。

4月からは3年生になります。大切な仲間とともに希望の進路を目指して充実した学校生活を送っていきたいです。

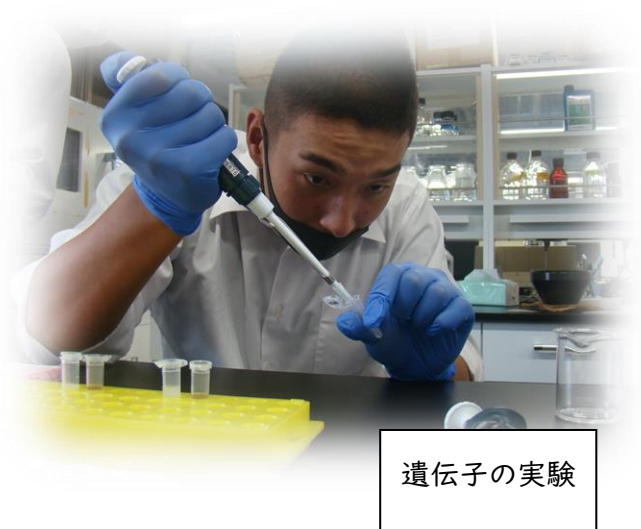


PCR 実験の様子

卒業生からのメッセージ R4 No.1

Eさん 大阪商業大学 公共学部 公共学科 合格

私は3年間で植物バイオ、微生物バイオ、遺伝子、について学びました。この3年間で岐阜農林生物工学科でしか学べないことを多く学びました。入学当初からコロナ禍もあり、不安や心配がいっぱいありました。しかし、ゼミのみんなや先生方に助けられながらも充実した高校生活を送ることができました。



遺伝子の実験

部活動では本当に貴重な経験をさせてもらいました。野球部に所属し、3年間苦しい時もありましたが歯を食いしばって頑張ったおかげで忍耐力、精神力が鍛えられました。

進路では、高校2年生の時まだ決まっていなかったが、「自分がやりたいことは何なのか?」と自問自答しながらオープンキャンパスにも積極的に参加しました。そして、高校3年生になり明確な進路目標が見えてきました。「自分の人生は自分で決め、失敗を恐れず進んでいきたい。」これが私の信条です。今思えば、「あっという間に3年間過ぎていったな〜。」と思います。後輩の皆さんには、「一日一日を大切に過ごしてほしい」と思っています。当たり前の毎日を当たり前とは思わず、仲間や先生たちに感謝して生活してください。また、今しかできない青春を謳歌して、悔いのない3年間にしてください。



培地の調製

岐阜農林高校に入学してR4 No.1

私には夢がある。それは、バイオ技術者になることだ。バイオ技術を学ぶために、岐阜農林高校に入学した。

私が高校生活で頑張りたいことは二つある。一つ目は、「勉強」だ。バイオ技術者になるには必要な知識や技術がたくさんある。専門科目や普通科目はもちろん、様々な資格や検定も取得したい。二つ目は、「友達づくり」だ。高校生活で必要・大切なものは友達という存在。日々ともに楽しく過ごし、辛いことがあったら相談し合う、そして互いに高め合える友達。それは自分を成長させてくれるに違いない。

私は、これらを頑張ることによって、充実した学校生活を送っていきたい。



電子顕微鏡での観察の様子

卒業生からのメッセージR3 No.1

Aさん

岐阜大学応用生物学部 環境科学課程 合格



植物体の観察

Q1 どんなきっかけで生物工学科を希望しましたか？

A: 中学校で勉強することがない微生物について学べることや、中3年生で参加した夏の高校見学で見た無菌操作を行うことができる設備の充実具合や、岐阜県内に2個しか設置されていない電子顕微鏡を操作できるという希少性に惹かれて希望しました。

Q2 生物工学科に入って良かったと思うことは何ですか？

A: 他学科よりも幅広い視野で物事を考えることができます。特に3年生で行う課題研究においては実習での実験の有無に関わらず、様々な観点で研究ができます。また、大学進学においては積極的に指導していただく機会が多くあり、進学を考えていたため、学校選びや受験に際して生かされる指導をしていただくことができ、大変感謝しています。

Q3 どのような資格を取りましたか？

A: 授業の中で勉強する日本農業技術検定や初級バイオ技術者認定試験をはじめとし、2年生の時には危険物乙種全類の取得を果たすことができました。

Q4 高校生活で思い出に残ったことを教えてください

A: 2年生の時に友人5人で参加した、知的財産創造実践甲子園において放課後にほぼ毎日集まり話し合いを繰り返しながら企画を練り、実験に結び付けることができたことです。実験内容としては、地域の活性化を目指した特産品開発で、試作品作りなどを放課後に行うことで実験の進め方を学ぶことや、仲間との絆を結ぶことができました。この貴重な機会を頂くことも含め、楽しい学校生活を送ることができたと感じています。

Q5 大学に合格するために、どのような勉強をしましたか？

A: 理科科目の試験が課されるため、生物、化学を重点に勉強しました。1年生の頃から、問題集をわからないなりに解くことで、意識的に勉強することや、苦手意識を作らないようにしていきました。また、面接練習や小論文指導においては、先生方に熱心に指導していただき、合格することができたと思っています。

Q6 将来の夢を教えてください。

A: 農業を支える人材になり、次の世代を育成することです。

Q7 中学生の皆さんに、進路選択をする上でのアドバイスがあればお願いします。

A: 生物工学科は学科の枠にとらわれずに広い視野で勉強ができます。農業や理科実験に興味がある方や、具体的にやりたいことが見つからない方に勧めたいです。

卒業生からのメッセージ R3 No. 2

Bさん

岐阜大学応用生物学部 応用生命科学課程 合格

Q1 どんなきっかけで生物工学科を希望しましたか？

A: 中学生の時に参加した高校一日入学の際に、無菌培養の実験を体験しました。この生物工学科では実践的な科学実験ができることを知り、この学科で学ぶことで自分の興味のあることをさらに深められると考えたことがきっかけです。

Q2 生物工学科に入って良かったと思うことは何ですか？

A: 課題研究で岐阜大学や岐阜県農業技術センターと共同で遺伝子解析実験を行うことができたことです。高校では学べないような高度な学習もできました。

Q3 どのような資格を取りましたか？

A: クラス全員で受検した農業技術検定3級、初級バイオ技術者認定試験、全商ビジネス文書実務検定3級、全商情報処理検定3級、危険物取扱者乙種4類を取得した後に、農業技術検定は2級、危険物取扱者乙種全類、全商ビジネス実務検定は2級、英検2級を個人で受検し合格しました。

Q4 高校生活で思い出に残ったことを教えてください

新型コロナウイルス感染症のため、授業や行事が思うようにできなかったものの、各学年で行ったプロジェクト学習はとても印象に残っています。プロジェクト学習では自ら課題を見つけて研究を行います。その研究の中での大学との交流や発表会は生物工学科の先生の多大なサポートによって、問題なく行えたため、感謝しています。

Q5 大学に合格するために、どのような勉強をしましたか？

基礎的な学力はもちろんのこと、化学や生物に関する講演会や大学のオープンキャンパスにも積極的に参加し、大学進学への興味関心がより高くなりました。受験対策としては、志望理由書は自分が納得するまで書き直し、面接練習や小論文対策は多くの先生に指導してもらいながら練習しました。

Q6 将来の夢を教えてください。

将来は高校で学んだことや、大学でさらに学びを深めたことをもとに、研究者として地域に貢献できる人になりたいです。

Q7 中学生の皆さんに、進路選択をする上でのアドバイスがあればお願いします。

高校では多くのことを学ぶことができます。自分の可能性を見つけたり広げたりすることができます。学校を選ぶ際は今の自分をしっかりと分析しつつ、将来どのような人になりたいか考えるとよいと思います。

卒業生からのメッセージ No.3



Cさん

就職:マルスン(株) 内定

Q1 どんなきっかけで生物工学科を希望しましたか？

A:入学したきっかけは体験入学です。その時にやったセントポーリアの葉刺し培養にとっても興味を持ちました。また、高校を調べている中で微生物利用の授業に強く惹かれて入学を決めました。

Q2 生物工学科に入ってよかったと思うことは何ですか？

A:生物工学に入ってよかったことは普通科の高校では受けられない専門的な授業が受けられたことです。総合実習などで行った実験はどれも楽しくて、とても良かったです。

Q3 どのような資格を取りましたか？

A:初級バイオ技術者認定試験と全商情報処理検定 3 級です。

Q4 高校生活で思い出に残ったことは何ですか？

A: 高校生活で思い出に残ったことは課題研究です。自分で決めた課題であるエリンギについて調べたり、栽培したことがとても楽しかったです。実食した時も普段食べていたエリンギよりもとても美味しく感じ、嬉しくなりました。

Q5 就職試験に合格するために、どのような勉強をしましたか？

A:内定をもらうために進路先の会社について調べ、その会社でどのようなことが行われていることがどのようなことなのかを調べました。

Q6 中学生の皆さんに、進路選択をする上でのアドバイスを願います。

A:自分が何をしたいのかを1番に考えると良いと思います。何も考えず受動的に進路を選んでも楽しくないですし、続かないと思います。まだまだ選択肢がたくさんあると思うので、自分がしたいことを選択するのがよいと思います。たしかに周りの大人が言う事は正しいことが多いと思います。しかし、自分を大事に強く持ち、自分の意思で進路を決めていくことが何より大事なことです。